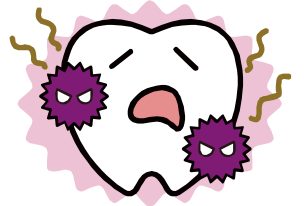




歯のはなし

気になるお口のニオイ！ むし歯が原因の口臭とは？

お口に関する悩み事で、いつも上位に挙げられる「口臭」。食後に歯をみがいたり、ガムをかんだりして、常に気にされている方も多いのではないのでしょうか？ そういったケアをしてもお口のニオイが気になる場合は、もしかするとむし歯が原因かもしれません。そこで今回は、**むし歯が原因の口臭**についてお話しします。



むし歯で口臭が発生する3つの理由

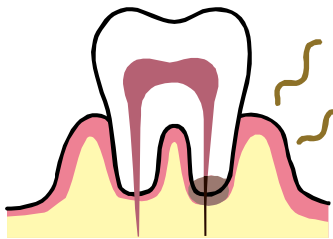
むし歯になるとなぜ口臭が発生するのでしょうか？ ニオイの原因には、主に次の3つの理由があります。

① 食べ物が発酵したニオイ



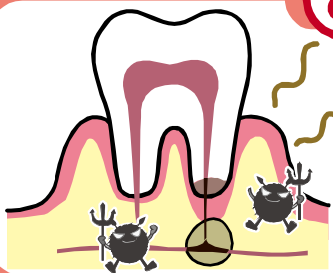
むし歯になって歯に穴が空いたり隙間ができたりすると、その部分には食べ物が詰まりやすくなります。そもそも、むし歯になった場所というのは歯ブラシが届きにくく、みがき残しの多い場所です。そのため、ご自身では歯をみがいているつもりでも、食べ物のカスが残しやすいのです。その残った食べカスが**お口の中の菌によって腐敗・発酵**すると、臭いガスが発生して口臭の原因になります。

② 歯の神経が腐敗したニオイ



むし歯が進行して歯の神経が死んでしまうと、**神経が腐敗して日に日に口臭は強くなっていきます**。歯の神経が死に至るまでには、歯がしみたり痛んだりと何らかの自覚症状があったはずですが、それがある日を境に突然痛みがなくなっても**むし歯が治ったわけではありません**。歯の神経が死んでしまったために痛みを感じなくなってしまったのです。

③ 歯の根の先にたまった膿のニオイ



死んでしまった歯の神経をそのまま放置してしまうと、歯の根のさらに深い部分にまで細菌が侵入して、あごの骨を溶かして膿をためることがあります。これは**歯根嚢胞**と呼ばれるもので、自覚症状がないまま進行することもあり、気づいた時にはとても大きくなっていることもあります。そして、この袋が破れて膿が出ると**悪臭が発生し、それが口臭の原因となります**。

むし歯が原因の口臭を治すには？

口臭の原因がむし歯の場合、**むし歯を治療することが必須**です。「むし歯の治療は時間がかかる」「治療が怖い」などの理由で、つい先延ばしにしてしまう方もいらっしゃるでしょう。しかし、むし歯は痛いだけでなく口臭の原因にもなりますので、早めに対処しましょう。また、**過去にむし歯の治療をした歯でも、再びむし歯になることもあります**。特に神経を抜いてしまった歯は、またむし歯になっても痛みを感じないため、気づいた時にはかなり進行していることもあります。**全てのむし歯をしっかりと治療したからといって安心せず、定期的に歯科検診をすることも重要です**。



出会いの季節に向けて、今からお口の中も準備しておきましょう！